

「ワールドフェスタ・ヨコハマ2016」 食べて・遊んで・世界の旅 ～18万人の人出～

今年で22回目を迎えたミナトヨコハマの秋を彩るイベント「ワールドフェスタ・ヨコハマ2016」テーマは世界の“パン&スイーツ”フェア（主催：横浜商工会議所、横浜市、（公財）横浜観光コンベンション・ビューロー、山下公園通り会、（一社）横浜青年会議所）が10月8日、9日の両日、山下公園内を会場として盛大に開催された。

会場内には、世界23ヶ国51店のブースが勢揃いし、両日共に大気が不安定となり、雨模様となったにも関わらず、18万人が来場した。

人気の「ハーバービュー！野外大レストラン」の各ブースには、各国自慢の料理メニューや世界の食文化と地域の特徴を活かしたパンやスイーツを求める長蛇の列ができた。

中でも、昨年に引き続き出店した福島県「いわき商工会議所」のういの貝焼きや「鹿児島県鹿児島市」の黒豚ねぎしゃぶ、今回初出店となった北海道「滝川商工会議所」の合鴨やメロンと「長野県中野市」のシャインマスカットなど、各地の特産品に舌鼓を打ち、「横浜のパン&スイーツコーナー」として出店した「ポンパドウル」・「エスプラン」・「ありあけ」では、地元横浜の味を土産用として購入する来場者が多く見られた。

また、世界各国の民族舞踊や音楽等を楽しむ「ワールドミュージック&ダンスショー」では、昨年に引き続き、ジャズの本場アメリカから、在日米陸軍軍楽隊「相武台スウィング」が出演した他、「日本フィリピン国交正常化60周年」に関連し、フィリピン出身のジャズポップシンガーであるマリア・エヴァ氏が、ジャズオーケストラ「4th Avenue Jazz Orchestra」を率いて出演するなど、会場は大いに盛り上がった。

さらに、来場者参加イベントでは、民族衣装のレンタルサービスや会場周辺施設を巡るスタンプラリーを実施し、大人から子供まで楽しめる、横浜の秋のイベントを満喫した。

